

新城 歴史文化遺産マップ

新城の歴史

1671(康熙10)年に宜野湾間切が設置されるまで新城は浦添間切の一部でした。『絵図郷村帳』には「あら城村」と記され、『琉球国由来記』には「新城村」と記されています。下原・ウフトクバシ・イロハ・アヲグスクバシ・ネーデル・アガリシム・大道原・西原・新城原・前原・東原・ナカモトバシ・イハシ原・仲毛原・上原の八つの小字があり、新城原には近世(約17世紀〜)に計画的な碁盤型集落が築かれ、仲毛原と上原周辺には18世紀半ばから屋取集落が築かれました。明治30年代(20世紀初頭)の新城の様子は佐喜眞興英が著した『シマの話』に詳しく記載されています。



間切図(沖縄県立博物館・美術館所蔵)

1908(明治41)年の沖縄県及島嶼町村制で「新城村」から「字新城」へと変わり、1939(昭和14)年の行政区再編の際には仲毛原と上原が上原区の一部となりました。

新城の古島と新島

新城の集落はもともと小字下原(シチャバハ)にあり、隣接する安仁屋集落と仲が悪く喧嘩が絶えなかったそうです。ところが近くにあったカンナシーという岩が「安仁屋小くんげーらし、新城小くんたばり。」(安仁屋をうんとひっくり返せ、新城を強く縛れ)と每晚怒鳴ったため、カンナシーを恐れて安仁屋は集落を安仁屋原に、新城は集落を新城原に移したということです。移動の時期は不明ですが、新しい集落は近世琉球王国時代の計画的な碁盤型集落でした。

沖縄では17世紀末〜18世紀頃になると、首里王府の政策によって集落を別の場所に移動することがありました。沖縄ではムラのことを島(シマ)と言いますが、このように移動した集落を「新島(ミージマ)」、もともと集落があった場所を「古島(フルシマ)」と呼びます。

遺跡から見える新城

新城では1981(昭和56)年から遺跡の分布調査が行われ、これまでに20を超える遺跡が確認されました。最も古い遺構は新城原第二遺跡の貝塚で、約6500年前に作られた爪形文土器が出土しました。同遺跡では約2000年前の川跡とイモガイ集積、約700年前の水田跡、近世・近代の水田跡が確認されており、新城の北側に広がる平地は肥沃な湿地で、水田に適した場所だったようです。

また、新城下原第一遺跡では県内で初めてジュゴン骨製の離頭銛と約3500年前の土器が同時に出土しました。銛頭は獲物に刺さると柄から離れ、銛頭に結んだ縄を手繰り寄せて獲物を捕獲します。

丘陵上の小字下原に所在する新城上殿遺跡には屋敷囲いの石積みや道の跡が残っており、グスク時代の土器や中国産陶磁器も出土していることから、新城原に移転する前の集落でグスク時代には人が住んでいたと考えられています。



離頭銛 市立博物館収蔵



- 1 は現存していません。
- 2 は見学の際には事前に連絡が必要です。
- 3 は普天間飛行場内に所在するため見学できません。

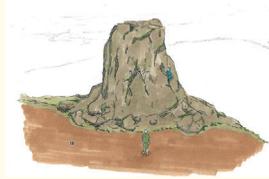
1 シンバルガー



自然に水が流れ出ていたそうです。湧泉の周囲は棚田ではなく畑でした。

「アラグスクフルガー」とも呼ばれ、小字下原に集落があった頃、ムラガー(村泉)・ウプガー(産泉)として利用されました。石積みの無い湧泉で道より低く位置し、岩の間から

2 カンナシー



岩の大きさは50坪ほどで、戦前まで子供たちはこの岩の上で遊んだそうです。戦後、造成工事により壊されました。

ムラアシビ

ムラアシビはムラの神々に五穀豊穡を感謝し豊年を祈願する行事で、各ムラで盛大に行われました。新城は他集落と違い毎年の種子取の行事に合わせて、寅年と申年に遊び庭に仮説舞台を作り、衣装も揃えた大掛かりなムラアシビを行いました。

タントゥイアシビとも呼ばれたムラアシビの主な演目は組踊、歌劇(芝居)、端踊りですが新城では特に歌劇が盛んでした。戦前は男性のみで行われ、代表者数名が那覇まで芝居を見に行き、内容を分担して覚えたものを皆に教えて指導したそうです。練習期間は2〜3カ月におよび、日焼け防止のためその間の畑仕事は禁止されたそうです。なかでも四人1組で8組を作り各組がそれぞれ違う衣装と小道具を持ち、次々と舞台上で踊る「総踊り」という演目は、新城だけのものでした。

開始時期についてはアシビナーが造られた1890(明治23)(寅)年とする説や、病気が流行した際にサンジンソウから六年に一度ムラアシビを行うよう指示された。等の伝承があります。

1947(昭和22)年には帰村祝いのアシビが行われました。衣装などは全て戦争で失われたので自分たちで工夫して製作し昔の芝居が盛大に行われました。



道ジュネー



幕開けの総踊り

3 イシジャー



多孔質で透水性の高い琉球石灰岩が広く分布する地帯では、雨水は蒸発あるいは地下に浸透するため河川は形成されません。しかしイシジャーは渓谷状の河川で、一部では流水も見られるため、他の琉球石灰岩地域では見られない珍しい地形といえます。渓谷の両側には約120基の多様な型式の古墓が並んでいます。

4 あらしろの塔



沖縄戦では戦前の住民の32%にあたる39人が亡くなりました。字新城郷友会では1968(昭和43)年に慰霊塔「あらしろの塔」を建立し、毎年6〜7月に慰霊祭を執り行っています。

4 御願所



戦後もなく、消失した集落の聖地を現在の市民広場近くに仮安置した後、1968(昭和43)年に「あらしろの塔」に隣接して御願所を建設し安置しました。定期的な御願やマールアシビの際にも郷友会で拝んでいます。

5 シマヌカー



普天間飛行場内の東側に残る全長約415mの洞窟で、入り口に続く階段を下りると、左側には湧き水を溜めた貯水槽があり、そこから溢れ出た水は入り口右側にある壕の奥へと流れています。沖縄戦では避難壕として利用されました。

| 西暦 / 年号 / 出来事 | 新城のあゆみ |
|---------------|--|
| 1609 | 万暦37 薩摩侵攻 |
| 1649 | 順治6 『絵図郷村帳』に「あら城村」と記される |
| 1671 | 康熙10 宜野湾間切、新設 |
| 1713 | 康熙52 『琉球国由来記』に「新城村」と記される |
| 1737 | 乾隆2 乾隆大御支配(元文検地)はじまる |
| 1872 | 明治5 明治政府が琉球王国を琉球藩とする |
| 1879 | 明治12 琉球処分により琉球藩を廃して沖縄県設置 |
| 1890 | 明治23 遊び庭(アシビナー)がつくれるームラアシビ開始? |
| 1903 | 明治36 新城村字下原の田畑およそ200坪、水害を受ける |
| 1908 | 明治41 沖縄県及島嶼町村制により宜野湾村となる(新城村から字新城へ) |
| 1920 | 大正9 マールアシビ(寅年)開催。「フェースシマ(南ヌ島)」この年の演舞が最後 |
| 1926 | 大正15 マールアシビ(寅年)開催。組踊「忠孝夫人(大川敵討)」や芝居「ヌーファヌモーイ」などを上演 |
| 1932 | 昭和7 マールアシビ、シルクルーに分かれて開催(申年)。舞踊「総踊り」、組踊「伏山敵討(棚原の按司)」の上演 |
| 1938 | 昭和13 マールアシビ(寅年)が戦争の影響で禁止。御願として「旅スガシ」を実施 |
| 1940 | 昭和15 新城、野嵩、普天間の3カ字共同で普天間に「普野城製糖工場」の設置を決定 |
| 1944 | 昭和19 マールアシビ(申年)が戦争の影響で禁止。御願として「旅スガシ」を実施 |
| 1945 | 昭和20 米軍、宜野湾周辺まで侵攻(4/4)普天間飛行場の建設開始(6月) |
| 1947 | 昭和22 「ヌチヌスージ」(アシビ)を野嵩で開催。女性初参加 |
| 1956 | 昭和31 マールアシビ(申年)野嵩で開催 |
| 1961 | 昭和36 新城西原の区画整理工事完了 |
| 1962 | 昭和37 小規模なアシビを野嵩で開催(寅年) |
| 1964 | 昭和39 新行政区設置(新城区自治会)/字新城郷友会結成 |
| 1965 | 昭和40 第二地区(野嵩)の知念堂原、長道原の一部、新城の西原、新城原の一部)土地区画整理事業始まる/新城区民運動会始まる |
| 1966 | 昭和41 新城中通り(14号線)街路改修 |
| 1967 | 昭和42 第二地区土地区画整理事業(新城地区内30号線の排水、歩道整備、第16号線、第10号線、第8号線の街路改修工事着工) |
| 1968 | 昭和43 新城区公民館落成/字新城郷友会、慰霊塔「あらしろの塔」建立、普天間飛行場内にあった元集落の御願や拝所を一ヶ所にまとめる |
| 1969 | 昭和44 普天間第二小学校開校/新城青年会館完成 |
| 1970 | 昭和45 第二地区土地区画整理完了 |
| 1972 | 昭和47 沖縄県発足/新城の伝統芸能「天川総踊り」40年ぶりに復活 |
| 1980 | 昭和55 マールアシビ(申年)、郷友会事務所前広場で開催 |
| 1984 | 昭和59 新住居表示始まる(普天間、野嵩、新城、喜友名の各一部) |
| 1986 | 昭和61 マールアシビ(寅年)、郷友会事務所前広場で開催。組踊「伏山敵討(棚原の按司)」戦後初上演/中部地区国民年金大会にて新城区自治会が優良民間地区組織として社会保険庁長官より表彰される |
| 1992 | 平成4 新城区青少年を守る会(現:新城区安全協力会(1999年〜)結成 |
| 1994 | 平成6 新城土地区画整理事業記念碑を建立 |
| 1995 | 平成7 新城児童センター落成 |
| 1998 | 平成10 マールアシビ(寅年)開催。戦後初の道ジュネーと歌劇「ユタの願文」上演 |
| 2000 | 平成12 創作市民劇「新城村と佐喜眞興英」、市民会館にて上演 |
| 2003 | 平成15 新城区地域安全協力会、(財)全国防犯協会連合会より社会安全貢献賞を受賞/新城の御願所の改築 |
| 2004 | 平成16 新城区自治会創立40周年記念/マールアシビ(申年)開催 |
| 2005 | 平成17 新城区地域安全協力会による青色回転灯の巡回始まる |
| 2010 | 平成22 マールアシビ(寅年)開催 |
| 2015 | 平成27 西普天間住宅地区返還 |
| 2017 | 平成29 普天間第二小学校運動場に米軍ヘリの窓が落下 |
| 2018 | 平成30 新城区地域安全協力会、全国地域安全運動中央大会にて警察庁長官並びに(公財)全国防犯協会連合会会長より防犯功労団体の表彰を受ける |
| 2020 | 令和2 新しい新城公民館建設のため、自治会事務所を字新城郷友会事務所へ一時移動 |